

第3回 定例会

平成十九年第三回定例会は、九月五日から二十七日まで二十三日間の会期で開かれました。

この定例会には、知事からは、平成十九年度一般会計補正予算や、茨城県県立学校設置条例等の一部を改正する条例など、また、議員からは、中小企業の事業承継円滑化のための税制措置等を求める意見書などの議案が提出されました。

代表質問では、茨城空港の開港に向けた対応、事業所の地球温暖化対策、県民の声が反映された県政の実現、県

央地域でのドクターヘリの配備などについて、また、一般質問では、県北地域の経済的自立に向けた定量的数値目標、有用微生物群を活用した水質浄化の取り組み、児童虐待の解消への対応、新税の使途、里山を保全・活用するための条例等の制定、霞ヶ浦の魅力を活かした今後の振興策、合併市町村の行財政改革等に対する支援策、中小・零細企業の支援強化、圏央道沿線での夢のあるプロジェクト展開などについて質問がありました。(二～五面に掲載)

常任委員会では、付託議案の審査

のほか、空港ビル貸付金の償還計画の妥当性、原子力安全協定に基づく報告漏れへの対応、今後の高度浄水処理の導入計画、小規模農家にも配慮した取り組み、中高一貫教育校の今後の整備計画などについて議論が行われました。(六・七面に掲載)

予算特別委員会では、付託議案の審査のほか、職員の不祥事防止、救急医療情報システムの充実、県立友部病院の改築などについて質疑が行われました。(五面に掲載)

決算特別委員会では、平成十八年度公営企業会計決算の認定に係る審査が行われました。(八面に掲載)

財政再建等調査特別委員会では、本県財政の再建を進めるための諸方策について行政組織、歳出、歳入の三分野にわたって調査を進め、精力的な議論が行われました。(八面に掲載)

代表質問(要旨)

茨城空港の開港に向けた対応は 空港対策室を課へ格上げし 組織体制を充実

議員(自民) 県民が将来に夢と希望を持って、安心して心豊かに暮らせる社会をつくり上げていくことが、知事たる者の使命であると考えて、今後の二年間、どのような方針のもとに県政運営を担っていくのか。

知事 本県を豊かな県として発展させていくため、簡素で効率的な行政運営に努めながら、恵まれた発展基盤を最大限に生かしつつ、戦略的な企業誘致を推進し、働く場がしっかりと確保される産業大県づくりを進めるなど、人が輝く元気で住みよいいばらきの実現に向けて、全力で県政運営に取り組んでいく。

知的な開港へ向けての作業体制を整え、強力で茨城空港の売り込みを行うとともに、空港を核とした地元経済活性化策への着手や貨物空港としての活用の検討をすべきと考えるがどうか。



整備の進む茨城空港(イメージ図)

知事 空港対策室を課に格上げして組織体制の充実を図ることについては、早急に検討していく。地元経済活性化策については、地元と協力しながら、各種の施策に積極的に取り組んでいく。また、航空貨物の取り扱いについては、将来的には、調査・検討を進めていく。

議員 震安全性は十分であるか。また、原子力施設における災害発生時の諸対策については万全であるか。

知事 原子力施設における耐震安全性等の一層の強化を図るべく、今後の国の検討結果も踏まえつつ、事業者に改善を求めていくとともに、自然災害と原子力災害が同時に発生した場合の対応などについて、早急に検討を進めていく。

議員 近年の我が国の農業を取り巻く環境は、農業従事者の高齢化や農業所得の伸び悩み、貿易の自由化など、厳しい状況にあるが、今後どのように取り組み、本県農業を改革・進展させていくのか。

知事 本県農業の競争力の強化のため、エコ農業をPRし、茨城の農産物は環境にも健康にもいいといったイメージを打ち出して

議員 生徒一人一人の適性や興味・関心に合った特色ある高校づくりを進めていく必要がある。このため、生徒が興味・関心のある競技や科目において、格闘技などの競技力や専門的技術を持つ教員や指導者採用の一層の促進についてどのように取り組んでいくのか。

教育長 平成二十年度採用予定の教員選考試験から、特例措置を設けた。この選考結果を検証したうえで、高い競技力等、特定の分野に秀でた才能や技能を持つ教員の採用が可能なようになるような採用選考の方法についても、引き続き検討していく。

県議会を傍聴しませんか

本会議は、特別の場合を除き、誰でも傍聴できます。傍聴を希望される方は、県議会議事堂の傍聴受付で傍聴券を受け取って入場してください。(傍聴席は三百席で先着順です。)

また、手話通訳を希望される方は、傍聴を希望する日の一週間前までに、県議会事務局へ申し込んでください。

なお、手話通訳の申し込み方法や本会議などの日程、委員会の傍聴の仕方など、詳細について知りたい方は、県議会事務局議事課にお問い合わせください。

お問い合わせ先
電話 〇二九一三〇一五六三四
FAX 〇二九一三〇一五六二一九

質問者

田山 東湖

(自由民主党)

今 一男

(民主党)

半村 登

(自民県政クラブ)

井手 義弘

(公明党)